



明日から夏休みに入ります。13日間と短い夏休みですが、それぞれのご家庭で楽しい夏休みを過ごしてください。夏休みには出来ない体験は思い出として残ることでしよう。

園生活のリズムに慣れて来たことたちです。お休み中でも生活のリズムを大切にしておあげてください。「夏休み生活表」も活用して下さい。良い習慣が身に付くといいです。8月18日(火) 第2学期 始業の日を持たせてください。

■ 園庭のあそびと違って園舎の中のあそびはとてとバラエティです。

静かなあそびと動きのある活発なあそびに分けられます。

毎朝、教室にはテーブルが ^{あそび}あちこちと出ている。その上には小さな玩具が ^{あそび}ことたちのあそびを待っています。

ブロック、ママごと、人形などですが、年少さんの教室には新しくママごとセットが用意されます。



ジャングルジムのてっぺんや ソフトブロックを積んだ壁とマットとのスキ間も大好きです。

中には変り種が居て、職員室の園長の椅子と言っておともたちも居るんです。

ことたち あそぶ時はそれぞれに夢を持ってあそんでいるんですね。

その思いに合ったスペースを上手に探し出しているのです。

基本的に教室ではこの遊具！
ホールではこの遊具！廊下ではと

あそびの場は危険でなければどこでもよしとしており、ことたちはトレ以外至る所であそんでおります。

教室・廊下・ホールは基本的な場ですが、階段下やガラスの外壁と階段のスキ間とか、らせん階段の下のせまい所、ホールのピアノの下。

決めておりますが、時折「あら！それでいいのかな？」と注意されています。

■ 昨年末にほぼ園舎の南側角地63坪を取得しました。

バスマチ駐車場として整備しております。緊急駐車場としての使用を考えております。以上ご報告いたします。

(心の育ちシリーズ)

何故! どうして!!

以前からいじめのニュースが出る度に心にひかかる事がありました。最初の頃は「どうしてクラスの誰かが止めないのか!」でした。私の子供時代はおおよそ70年前ですが、クラスには良き悪きリ・ダ的な生徒が居て、いじめ事を解決しました。「見て見ぬふり」はありませんでした。

学校のいじめも時代と共に陰湿化して来て、記事を読む度に驚き、心を痛めております。小学校と中学校のクラスには「自助能力」と言う力は無くなったのですね。

そして、被害者であるいじめられた子が自殺までしてしまうという記事には心底心が痛みます。どうしていじめっ子である加害者の生徒はどまでやるのか! という怒りとその様子をずっと見ていた学校へも「どうして?」の思いが大きいです。

どうして心にひかかる事ですが、いじめのようすと被害者の苦しみは記事によると細かく報道されますが、加害者の生徒には年齢と人数のみの記述です。その後の加害者である生徒への教育と指導については一切触れておりません。「いじめられた子が死んでも加害者である生徒は守られる」と言う前例をくつてはならないと被害者の保護者は訴えているほどです。

学校は安全なところ! 学校は命を守っているところ! ですな。この思いに関係者は応えるべきです。

「いじめの抑止力」を社会全体で、ことたちの為に考えてあげたい。です。熊本県の中学校で、赴任したての校長が加害者の生徒に「出席停止」の措置と家庭訪問実施して大きな成果を挙げた事が、読売新聞で報道されたとあります。